

Ⅲ 教育活動

1 農場実習

1) 実習の概要

当農場は、年間13科目、延べ94日、441名の学生に対して、計14単位の実習を行い、農業の科学的基礎である農学理論の実践の場、生物生産技術革新のための実験の場、生物生産業としての農業を支える農業経営者の育成の場として、本学農学部教育の理念を支える重要な役割を果たしている。実習は、畜産、果樹、野菜、花卉、作物、施設園芸といった農業のほぼ全分野にわたっており、植物、動物のライフサイクルをととした体系的な実習を特色としている。

農場実習の学科（コース）別の科目、単位数および実習の種類は、第8表のとおりであり、平成19年度からは学理と実習を統合した新実習体制（兼任教員制）の基、教員と技術職員が一体となって効率的な農場実習を進めている。なお、前述のように農学部は平成28年度（2016年度）に改組を行った。改組は学年進行のため、平成28年度入学生からは新しいカリキュラムに則って進行していくことになる。

第8表 学科別実習科目、単位、人数および実習の種類

学科・コースなど	学年	実習科目	単位	必修	人数	実習の種類
通 年						
農業生産科学科	1	農業生産科学農場実習	1	必修	82	集中3日間（2回）
応用植物科学	2	農場実習	1	必修	39	集中3日間（2回）
食環境制御科学	3	暖地農業実習	1	必修	27	集中3日間（2回）
前 期						
応用植物科学	3	農場実習Ⅱ	1	必修	39	毎週1回火曜日半日
畜産科学	2	牧場実習	1	必修	29	集中5日間（1回）
畜産科学	3	家畜飼養管理学演習Ⅰ	1	選択	25	集中3日間（随時）
獣医学科	3	獣医臨床基礎実習	1	必修	31	集中5日間（1回）
後 期						
応用植物科学	2	農場実習Ⅰ	1	必修	40	毎週1回火曜日半日
食料農業経済学	2	農業生産学実習	1	必修	9	毎週1回金曜日半日
地域環境システム学	2	農業生産学実習	1	必修	31	毎週1回金曜日半日
応用植物科学	3	農場実習Ⅲ	1	必修	37	集中（随時）
国際食料資源学特別	2	フィールド実習	1	必修	24	集中4日間（1回）
畜産科学	3	家畜飼養管理学演習Ⅱ	1	選択	25	集中3日間（随時）
農林水産学研究科	M1	畜産科学特別実習	1	選択	3	集中5日間（1回）

2) 兼任教員

平成19年度から、農場実習の質的向上を図るため、学理と実習を統合した兼任教員制を導入した。現在、農学部長から委嘱された下記の22名の兼任教員が、それぞれの専門に関する実習教育に携わっている。なお、前述のように平成28年度（2016年度）に改組を行ったので教員の所属などは新学部体制に従った。

農業生産科学科

- 准教授 下田代智英（作物学教育研究分野）
- 教授 坂上 潤一（熱帯作物学教育研究分野）
- 教授 志水 勝好（比較環境農学教育研究分野）
- 准教授 一谷 勝之（植物育種学教育研究分野）
- 教授 山本 雅史（果樹園芸学教育研究分野）
- 講師 香西 直子（果樹園芸学教育研究分野）
- 准教授 吉田理一郎（蔬菜園芸学教育研究分野）
- 教授 橋本 文雄（観賞園芸学教育研究分野）
- 准教授 清水 圭一（観賞園芸学教育研究分野）
- 教授 津田 勝男（害虫学教育研究分野）
- 准教授 坂巻 祥孝（害虫学教育研究分野）
- 教授 李 哉泫（農業経営学研究分野）
- 教授 三好 和睦（家畜繁殖学教育研究分野）
- 准教授 大久津昌治（家畜繁殖学教育研究分野）

教授 岡本 新 (家畜育種学教育研究分野)
 准教授 下桐 猛 (家畜育種学教育研究分野)
 准教授 高山 耕二 (家畜管理学教育研究分野)
 教授 後藤 貴文 (食肉科学教育研究分野)
 教授 大塚 彰 (栄養生化学・飼料化学教育研究分野)
 准教授 井尻 大地 (栄養生化学・飼料化学教育研究分野)
 農林環境科学科
 助教 末吉 武志 (農業環境システム学教育研究分野)
 研究推進機構 遺伝子実験施設
 教授 田浦 悟

3) 実習科目毎の日程および内容

(1) 農業生産科学農場実習 (必修)

対象：農業生産科学科1年, 82名

日程：集中実習 (1期3日間・2期3日間)

単位：1

実習施設：学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場

担当教員：山本雅史・香西直子・橋本文雄・清水圭一・下田代智英・遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎

担当技術職員：野村哲也・中野八伯・濱田延枝・田浦一成・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・兒玉真紀・谷村音樹・

松元里志・勘米良祥多・飯盛 葵・松元里志・富永 輝・石井大介・有働穰嗣・日高裕希

目標：農業経験のない学生に生物生産のための基礎的技術を体験させ、生物生産の多面性および有機性を認識させる。

内容：非宿泊施設 (学内農場農事部・唐湊果樹園) から1カ所, 宿泊施設 (指宿植物試験場, 入来牧場) から1カ所を選択させ, 第9表に示すような普通・園芸作物, 施設園芸, 家畜生産についての基礎的な実習を行う。

第9表 農業生産科学農場実習の実習内容 (令和4年度)

月日	分野別の実習内容			
	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場	入来牧場
2022				
9/27	水稻収量生育調査, サツマイモ蔓払い, 試し掘り	草生管理, ビワの副梢管理	サトイモ収穫, 熱帯果樹繁殖 (マンゴー接ぎ木)	オリエンテーション施設見学 行動観察
9/28	トルコギキョウ定植, キク差し芽, イネ水選, 根菜類畝立て, マルチと播種	堆肥施用, 機械操作	リュウガン取り木, グアバ摘芯・葉収穫, サンセベリア・モンステラ株分け, プリメラ鉢上げ	ハンドリング ロープワーク ブラッシング 体重測定
9/29	タマネギ播種, 水稻収量調査, レポート	防風樹管理, 果樹苗管理	農作業機械類の基本操作	体尺測定 鼻紋採取
2023				
2/20	ムギ類の形態観察, 花卉類の管理	防風樹管理, カンキツ収穫の管理	スパティフィラム株分け, ピタヤ鉢替え, パッションフルーツ誘引・剪定	
2/21	果菜類育苗管理, ポット準備	剪定, 果樹鉢植管理	マンゴー管理 (花吊り), ジャガイモ植え付け, コーヒ挿し木, ライチ取り木, マンゴー接ぎ木	
2/22	圃場の除草管理, 露地野菜管理, レポート	カンキツ施肥, 農業機械操作	農作業機械類の基本操作	

2) 農場実習（応用植物科学コース）（必修）

対象：応用植物科学コース2年（3期～4期），39名

日程：集中実習（3期3日間，4期3日間）

単位：1

実習施設：学内農場農事部，唐湊果樹園，指宿植物試験場

担当教員：下田代智英・山本雅史・香西直子・橋本文雄・清水圭一・遠城道雄・朴 炳宰

担当技術職員：野村哲也・中野八伯・濱田延枝・田浦一成・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・兒玉真紀・谷村音樹・松元里志・勘米良祥多・飯盛 葵

目標：農業生産科学農場実習で習得してきた栽培技術を再確認するとともに，普通・園芸作物に関する栽培技術をより向上させる。

内容：第10表に示すように，指定された実習施設において，普通作物および園芸作物に関する専門的な実習を行う。

第10表 農場実習（応用植物科学コース）の実習内容（令和4年度）

		施設別の実習内容		
月日	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場	
9/13	水稻生育・収量調査，タマネギ播種			
14	伝統野菜播種，トルコギキョウ播種，キク差し芽			
15	農業機械操作，甘藷除草・試し掘り			
8/22			マンゴー・ゴレンシ接ぎ木，ゴレンシ芽かき・誘引	
23			パッションフルーツ挿し木，栽培ベット土入替・パッションフルーツ定植，アンズリュウム株分け	
24			アグラオネマ鉢替え，グアバ葉収穫・調整	
8/23		果樹園の草生管理		
8/24		防風樹管理，害虫防除		
8/26		カンキツの摘果，果樹苗管理		
2023				
2/28		果樹植え付け，カンキツ収穫		
3/ 2		カンキツ施肥，鉢・苗管理		
3/ 3		剪定，防風樹管理		
3/14	タマネギ収穫・調整・袋詰め			
16	鹿児島県6次産業サツマイモ製品のアンケート調査協力，ミニトマト・中玉トマト播種，トルコギキョウ収穫・管理，ハーブ鉢上げ			
17	スナップエンドウ片付け，ムギの携帯観察			
3/28			ライチ挿し木苗調査・鉢上げ，マンゴー・ゴレンシ接ぎ木	
29			堆肥散布・敷ワラ，アグラオネマ挿し木，アンズリュウム株分け，マンゴー玉吊り	
30			ジャガイモ植え付け，セロリ収穫・調整	

(3) 農場実習Ⅰ（応用植物科学コースA）（必修）

対象：応用植物科学コース2年（4期），20名

日程：半日実習（毎週火曜日）

単位：1（15週）

実習施設：学内農場農事部，唐湊果樹園，指宿植物試験場，入来牧場

担当教員：下田代智英・志水勝好・一谷勝之・山本雅史・香西直子・橋本文雄・清水圭一・吉田理一郎・中村正幸・田浦悟・遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎

担当技術職員：野村哲也・中野八伯・濱田延枝・田浦一成・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・兒玉真紀・谷村音樹・松元里志・勘米良祥多・飯盛 葵・松元里志・富永 輝・石井大介・飯盛 葵・有働穰嗣・日高裕希

目標：農業全般に関する基本技術の習得，普通作物，園芸作物のライフサイクルおよび普通作物，園芸作物および家畜糞尿処理と自然環境の関係を理解させる。

内容：第11表に示すように，附属農場4施設（学内農場農事部，唐湊果樹園，指宿植物試験場，入来牧場）を回り，普通作物，野菜，花卉，果樹，熱帯作物および家畜・堆肥製造のライフサイクルを通じた観察と管理技術の習得を目指した実習を行う。

第11表 農場実習Ⅰ（応用植物科学コースA）の実習内容（令和4年度）

分野別の実習内容						
月日	水田・畑普通作	野菜	花卉	果樹	熱帯・亜熱帯作物	家畜・飼料
2022						
10/4	オリエンテーション，カンショ収穫・調整	根菜・スナップエンドウ播種	キク定植			
10/11				カキの収穫・脱渋		
10/18	イネ収穫，遺伝資源評価	根菜・スナップエンドウ管理（間引き・ネット張り）				
10/25					農業施設の構造，養液栽培（定植），熱帯性植物の増殖（挿し木），熱帯果樹管理（ゴシレン摘果・袋かけ・苗木管理）	
11/1				カンキツへの秋肥施用，鉢苗管理		
8				カンキツの収穫①		
15				カンキツの収穫②		
11/29	コムギ播種，ケナフ収穫	タマネギ定植				
12/6						
					熱帯性植物の増殖（接ぎ木），ヤムイモ収穫，セロリ管理（定植・トンネルビニル張り）	
13						家畜の取扱い・家畜糞尿観察
27	コムギ踏圧	病害診断	トルコギキョウ定植，キク管理（芽かき・摘蕾）			
2023						
1/10				カンキツへの堆肥施用		
17					熱帯性植物の増殖（取り木，株分け），熱帯果樹管理（マンゴー摘蕾，スワルスキー設置）	
24	コムギ中耕・追肥・土入れ	根菜類収穫・食味官能試験，自主栽培説明，タマネギ除草	キク収穫，トルコギキョウ管理			
1/31				カキの剪定		

注）普通作物，野菜，花卉：学内農場農事部・指宿植物試験場，果樹：唐湊果樹園，

熱帯・亜熱帯作物：指宿植物試験場，家畜・飼料：入来牧場

(4) 農場実習Ⅰ(応用植物科学コースB)(必修)

対象：応用植物科学コース2年(4期), 20名

日程：半日実習(毎週火曜日)

単位：1(15週)

実習施設：学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場

担当教員：下田代智英・志水勝好・一谷勝之・山本雅史・香西直子・橋本文雄・清水圭一・吉田理一郎・中村正幸・田浦 悟・遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎

担当技術職員：野村哲也・中野八伯・濱田延枝・田浦一成・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・兒玉真紀・谷村音樹・松元里志・勘米良祥多・飯盛 葵・松元里志・富永 輝・石井大介・飯盛 葵・有働穰嗣・日高裕希

目標：農業全般に関する基本技術の習得, 普通作物, 園芸作物のライフサイクルおよび普通作物, 園芸作物および家畜糞尿処理と自然環境の関係を理解させる。

内容：第12表に示すように, 附属農場4施設(学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場)を回り, 普通作物, 野菜, 花卉, 果樹, 熱帯作物および家畜・堆肥製造のライフサイクルを通じた観察と管理技術の習得を目指した実習を行う。

第12表 農場実習Ⅰ(応用植物科学コースB)の実習内容(令和4年度)

分野別の実習内容						
月日	水田・畑普通作	野菜	花卉	果樹	熱帯・亜熱帯作物	家畜・飼料
2022 10/ 4				オリエンテーション, カキの収穫・脱渋		
10/11	カンショ収穫・調整, イネ収穫, 遺伝資源評価	根菜・スナップエンドウ播種	キク定植			
10/18				カンキツへの秋肥施用, 鉢苗管理		
10/25						家畜の取扱い・家畜糞尿観察
11/ 1					農業施設の構造, 養液栽培(定植), 熱帯性植物の増殖(挿し木), 熱帯果樹管理(ゴシレン摘果・袋かけ・苗物管理)	
8	ケナフ収穫	根菜・スナップエンドウ管理(間引き・ネット張り), タマネギ定植				
15	コムギ播種	病害診断	トルコギキョウ定植			
11/29				カンキツの収穫①		
12/ 6				カンキツの収穫②		
13					熱帯性植物の増殖(接ぎ木), ヤムイモ収穫, セロリ管理(定植・トンネルビニル張り)	
27				カンキツへの堆肥施用		

2023					
1/10	コムギ踏圧	タマネギ除草, 根菜類収穫, 食 味官能試験	キク・トルコギ キョウ管理		
17 24				カキの剪定	熱帯性植物の増 殖(取り木, 株 分け), 熱帯果樹 管理(マンゴー 摘蕾, スワルス キー設置)
1/31	コムギ中耕・追 肥・土入れ	自主栽培説明	キク収穫		

注) 普通作物, 野菜, 花卉: 学内農場農事部・指宿植物試験場, 果樹: 唐湊果樹園,
熱帯・亜熱帯作物: 指宿植物試験場, 家畜・飼料: 入来牧場

(5) 農場実習Ⅱ (応用植物科学コースA) (必修)

対象: 応用植物科学コース3年(5期), 19名

日程: 半日実習(毎週火曜日)

単位: 1(15週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場

担当教員: 下田代智英・坂上潤一・志水勝好・一谷勝之・山本雅史・香西直子・坂巻祥孝・清水圭一・吉田理一郎・田浦 悟・遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎

担当技術職員: 野村哲也・濱田延枝・田浦一成・吉留史佳・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・兒玉真紀・谷村音樹・松元里志・勘米良祥多・富永 輝・石井大介・飯盛 葵・有働穰嗣・日高裕希

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通作物, 園芸作物のライフサイクルおよび普通作物, 園芸作物および家畜糞尿処理と自然環境の関係を理解させる。

内容: 第13表に示すように, 附属農場4施設(学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場)を回り, 普通作物, 野菜, 花卉, 果樹, 熱帯作物および家畜・堆肥製造のライフサイクルを通じた観察と管理技術の習得を目指した実習を行う。

第13表 農場実習Ⅱ (応用植物科学コースA) の実習内容 (令和5年度)

分野別の実習内容						
月日	水田・畑普通作	野菜	花卉	果樹	熱帯・亜熱帯作物	家畜・飼料
2023						
4/11		オリエンテーション, 自主栽培, タマネギ収穫		接ぎ木		
18					熱帯果樹管理(マンゴー袋掛け), 観葉植物管理(鉢替え他), 熱帯性ヤムイモ定植, オクラ管理(播種・間引き), 養液栽培管理(播種)	
25						堆肥製造過程観察, トラクター運転
5/ 2	甘藷定植		トルコギキョウ管理・収穫			
9				防風樹管理		
16	小麦収穫, ケナフ紙漉き, 農業機械操作					
23	水稻播種	自主栽培中間報告				

Ⅲ 教育活動

6/ 6			ゴマダラカミキ リ防除 草生管理
13	普通期水稲田植	トルコギキョウ	
20	え	交配 (袋かけ)	
27			カンキツ施肥
7/ 4			堆肥の品質評価, ホイルロー ダー運転実習 (繰り返し)
11			熱帯果樹管理 (マ ンゴー収穫他), 農業施設の構, 野 菜類の管理 (ヤム イモ・サトイモ除 草, オクラ管理他)
18	水稲生育観察 自主栽培 (総評・ (ドローン), 小 片付け) 麦製粉		
25			カキ摘果

注) 普通作物, 野菜, 花卉: 学内農場農事部・指宿植物試験場, 果樹: 唐湊果樹園,
熱帯・亜熱帯作物: 指宿植物試験場, 家畜・飼料: 入来牧場

(6) 農場実習Ⅱ (応用植物科学コース B) (必修)

対象: 応用植物科学コース 3 年 (5 期), 19 名

日程: 半日実習 (毎週火曜日)

単位: 1 (15 週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場

担当教員: 下田代智英・坂上潤一・志水勝好・一谷勝之・山本雅史・香西直子・津田勝男・橋本文雄・清水圭一・
吉田理一郎・田浦 悟・遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎

担当技術職員: 野村哲也・濱田延枝・田浦一成・吉留史佳・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・兒玉真紀・谷村音樹・
松元里志・勘米良祥多・富永 輝・石井大介・飯盛 葵・有働穰嗣・日高裕希

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通作物, 園芸作物のライフサイクルおよび普通作物, 園芸作物およ
び家畜糞尿処理と自然環境の関係を理解させる。

内容: 第14表に示すように, 附属農場 4 施設 (学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場) を回
り, 普通作物, 野菜, 花卉, 果樹, 熱帯作物および家畜・堆肥製造のライフサイクルを通じた観察と管理
技術の習得を目指した実習を行う。

第14表 農場実習Ⅱ (応用植物科学コース B) の実習内容 (令和 5 年度)

月日	分野別の実習内容				
	水田・ 畑普通作	野 菜	花 卉	果 樹	熱帯・ 亜熱帯作物
2023					
4/11		自主栽培, タマ ネギ収穫		オリエンテー ション, 接ぎ木	
18					堆肥製造過程観 察, トラクター
25					熱帯果樹管理(マ ンゴー袋掛け), 観葉植物管理 (鉢替え他), 熱 帯性ヤムイモ定 植, オクラ管理 (播種・間引き), 養液栽培管理 (播種)
5/ 2				防風樹管理	
9	甘藷定植, 小麦 収穫		トルコギキョウ 管理・収穫		
16				草生管理	
23				ゴマダラカミキ リ防除	

6/ 6	水稲播種	自主栽培中間報告		
13	ケナフ紙漉き, 農業機械操作			
20			カンキツ施肥	
27	普通期水稲田植え		トルコギキョウ交配 (袋かけ)	
7/ 4				熱帯果樹管理 (マンゴー収穫他), 農業施設の構, 野菜類の管理 (ヤマイモ・サトイモ除草, オクラ管理他)
11				堆肥の品質評価, ホイルローター運転実習 (切り返し)
18			カキ摘果	
25	水稲生育観察 (ドローン), 小麦製粉	自主栽培 (総評・片付け)		

注) 普通作物, 野菜, 花卉: 学内農場農事部・指宿植物試験場, 果樹: 唐湊果樹園, 熱帯・亜熱帯作物: 指宿植物試験場, 家畜・飼料: 入来牧場

(7) 農業生産学実習 (地域環境システム学・食料農業経済学1班) (必修)

対象: 地域環境システム学・食料農業経済学 (1班) 2年 (4期), 20名

日程: 半日実習 (毎週金曜日午後)

単位: 1 (15週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園

担当教員: 一谷勝之・橋本文雄・清水圭一・吉田理一郎・坂巻祥孝・李 哉滋・末吉武志・田浦 悟・遠城道雄・朴 炳宰

担当技術職員: 野村哲也・中野八伯・濱田延枝・田浦一成・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・兒玉真紀

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通・園芸作物のライフサイクルおよび普通・園芸作物などの成長と自然環境の関係を理解させる。

内容: 第15表に示すように, 普通作物, 園芸作物 (野菜, 花・観賞植物, 果樹) などの栽培管理技術の習得と播種から収穫までの作物のライフサイクルを通じた観察と栽培管理の実習を行う。

第15表 農業生産学実習 地域環境システム学・食料農業経済学1班の実習内容 (令和4年度)

分野別の実習内容				
月日	水田・普通作	野菜	花卉	果樹
2022				
10/ 7	オリエンテーション	葉菜・根菜・マメ類播種	キク定植	
14				カキの収穫・脱渋
21	イネ遺伝資源の評価	マメ類管理 (間引き・ネット張り)	トルコギキョウ定植	
28				秋肥施用
11/ 4	農業機械操作	葉菜類定植, タマネギ定植		
18				カンキツの収穫①
25	オオムギ播種	マメ類管理 (芽かき)		
12/ 2				草生管理
9	害虫防除	葉菜・マメ類収穫・管理, 養液栽培 (播種・定植)		
16				カンキツの収穫②
20		マメ類収穫・管理, タマネギ除草	農産物の品質	
23				カンキツの袋掛け

Ⅲ 教育活動

2023	1/ 6	オオムギ踏圧・観察	マメ類収穫・管理, 食味官能試験	キク・トルコギキョウ管理 (芽かき・摘蕾)	
	20				落葉果樹の剪定
	27	オオムギ追肥・中耕・土入れ	養液果菜収穫・管理	キク収穫	

注) 水田・普通作, 野菜, 花卉: 学内農場農事部, 果樹: 唐湊果樹園

(8) 農業生産学実習 (地域環境システム学2班) (必修)

対象: 地域環境システム学 (2班) 2年 (4期), 20名

日程: 半日実習 (毎週金曜日午後)

単位: 1 (15週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園

担当教員: 下田代智英・一谷勝之・橋本文雄・清水圭一・吉田理一郎・坂巻祥孝・李 哉法・末吉武志・田浦 悟・遠城道雄・朴 炳宰

担当技術職員: 野村哲也・中野八伯・濱田延枝・田浦一成・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通・園芸作物のライフサイクルおよび普通・園芸作物などの成長と自然環境の関係を理解させる。

内容: 第16表に示すように, 普通作物, 園芸作物 (野菜, 花・観賞植物, 果樹) などの栽培管理技術の習得と播種から収穫までの作物のライフサイクルを通じた観察と栽培管理の実習を行う。

第16表 農業生産学実習 地域環境システム学2班の実習内容 (令和4年度)

分野別の実習内容					
月日	普通作物	野菜	花卉	果樹	
2022					
10/ 7					オリエンテーション, カキの収穫・脱渋
14	イネ遺伝資源の評価	葉菜・根菜・マメ類播種	キク定植		カンキツの収穫①
21					
28					
11/ 4					秋肥施用
18	農業機械操作	葉菜類定植, マメ類管理 (間引き・ネット張り), タマネギ定植			
25					ビワ管理
12/ 2	オオムギ播種, 害虫防除	マメ類管理 (芽かき), 養液栽培 (播種・定植)			
9					草生管理
16		葉菜・マメ類収穫・管理, タマネギ除草	農産物の品質		
20					カンキツの収穫②
23	オオムギ踏圧・観察	食味官能試験, マメ類収穫・管理	キク・トルコギキョウ管理 (芽かき・摘蕾)		
2023					
1/ 6					カンキツの袋掛け
20	オオムギ追肥・中耕・土入れ	養液果菜・マメ類収穫・管理	キク収穫		
27					落葉果樹の剪定

注) 水田・普通作, 野菜, 花卉: 学内農場農事部, 果樹: 唐湊果樹園

(9) 牧場実習 (畜産科学コース) (必修) 遠隔開講

対象: 畜産科学コース2年 (3期), 29名

日程: 集中実習 (3期5日間に4期5日間に延期)

単位: 1

実習施設: 入来牧場

担当教員: 大島一郎

担当技術職員: 富永 輝・石井大介・飯盛葵・有働穰嗣・日高裕希

目標：

- ・牛の適切なハンドリングが出来る。
- ・黒毛和種の基本的な生理生態および飼養管理を理解し、牛肉生産過程を詳細に説明出来る。
- ・家畜糞尿の堆肥化に関する基礎事項を理解し、その初期の温度・臭気変化を説明出来る。
- ・農業機械の基本的な役割、機能が説明出来る。

内容：入来牧場における黒毛和種の飼養管理、草地管理など肉牛生産の基礎事項を1週間体験することを通して、畜産業を包括的に捉える視野の獲得を目的とする。(第17表)

第17表 牧場実習（畜産科学コース）の実習内容（令和4年度）

月日	実習内容
2022	
8/22	オリエンテーション（施設、家畜、農業機械類の見学）、牛の保定、ハンドリング、牛体洗浄、ブラッシング
8/23	牛の日常管理、子牛・育成・肥育牛体重測定、12時間行動調査
8/24	牛の日常管理、飼料原料観察、採草地収量調査、農業機械運転実習、体尺測定・牛体観察、耳標・鼻環装着
8/25	牛の日常管理、放牧地巡視、除石、柵点検・補修、牛・馬の群管理、去勢、除角、採血
8/26	牛の日常管理、全体清掃

(10) 家畜飼養管理学演習Ⅰ（選択）

対象：畜産科学コース3年（前期）、25名

日程：随時

単位：1

実習施設：学内農場畜産部

担当教員：高山耕二・大島一郎

目標：

- ・家畜、家禽の飼料作成から堆肥生産までの一連の流れを把握し、実施できる。
- ・家畜、家禽の繁殖、育種を含む飼養管理の応用技術を習得する。

内容：鹿児島大学農学部附属農場学内飼育棟には、ウシ、ヤギ、ミニブタ、ニワトリ、ウズラ、アイガモ、ガチョウといった多様な家畜・家禽が飼育されている。既に、家畜生産学実習Ⅰにおいて、これらの家畜・家禽の飼養管理に関する基本技術を習得済みであるため、本実習ではさらにそれらの応用技術を習得することを目的とする。実習期間は4月から翌年3月までとする。実習時間は午前9時から午後5時までを原則とするが、他講義の履修状況や緊急の動物管理で時間外におよぶこともある。内容によっては小グループに分かれて、共同実習を行う。(第18表)

第18表 家畜飼養管理学演習Ⅰの実習内容（令和4年度）

月日	実習内容
随時	オリエンテーション イタリアンライグラスサイレージ調整 飼育施設の周辺整備・維持管理Ⅰ 堆肥生産 トウモロコシサイレージ調整 飼料生産（堆肥散布、牧草播種） 稲ワラの集草、乾燥 ウシの削蹄 反芻家畜の繁殖管理 ミニブタの繁殖管理 家禽・水禽の繁殖管理 家畜・家禽の生理機能のモニタリング 飼育施設の周辺整備・維持管理Ⅱ 疾病予防と対策 飼料設計

(11) 家畜飼養管理学演習Ⅱ（選択）

対象：畜産科学コース3年（後期）、25名

日程：随時

Ⅲ 教育活動

単位：1

実習施設：学内農場畜産部

担当教員：高山耕二・大島一郎

目標：

- ・家畜、家禽の飼料作成から堆肥生産までの一連の流れを把握し、実施できる。
- ・家畜、家禽の繁殖、育種を含む飼養管理の応用技術を習得する。

内容：鹿児島大学農学部附属農場学内飼育棟には、ウシ、ヤギ、ミニブタ、ニワトリ、ウズラ、アイガモ、ガチョウといった多様な家畜・家禽が飼育されている。既に、家畜生産学実習Ⅰにおいて、これらの家畜・家禽の飼養管理に関する基本技術を習得済みであるため、本実習ではさらにそれらの応用技術を習得することを目的とする。実習期間は4月から翌年3月までとする。実習時間は午前9時から午後5時までを原則とするが、他講義の履修状況や緊急の動物管理で時間外におよぶこともある。内容によっては小グループに分かれて、共同実習を行う。(第19表)

第19表 家畜飼養管理学演習Ⅱの実習内容（令和4年度）

月日	実習内容
随時	オリエンテーション イタリアンライグラスサイレージ調整 飼育施設の周辺整備・維持管理Ⅰ 堆肥生産 トウモロコシサイレージ調整 飼料生産（堆肥散布，牧草播種） 稲ワラの集草，乾燥 ウシの削蹄 反芻家畜の繁殖管理 ミニブタの繁殖管理 家禽・水禽の繁殖管理 家畜・家禽の生理機能のモニタリング 飼育施設の周辺整備・維持管理Ⅱ 疾病予防と対策 飼料設計

(12) 暖地農業実習（食環境制御科学コース）（必修）

対象：食環境制御科学コース3年（5，6期），27名

日程：集中実習（5期3日間で6期3日間に延期，6期3日間）

単位：1

実習施設：指宿植物試験場・学内農場農事部

担当教員：朴 炳宰

担当技術職員：谷村音樹・松元里志・勘米良祥多

目標：農業全般に関する基礎的技術，観賞作物や果樹，野菜の生長と自然環境との関係，施設園芸栽培技術を理解させる。

内容：第20表に示すように，熱帯・亜熱帯性の野菜，果樹，観賞植物を中心に施設園芸および栽培管理技術に関する実習を行う。

第20表 暖地農業実習（食環境制御科学コース）の実習内容（令和4年度）

月日	実習内容
2022	
9/13	場内説明，パッションフルーツ管理（整枝・剪定），取り木苗鉢上げ準備，熱帯果樹管理（ライチ定植など）
9/14	用土作り，取木苗の鉢上げ，熱帯果樹挿し木，栄養繁殖について説明，熱帯果樹接木（マンゴー・グレンシ）
9/15	野菜管理（サトイモ収穫・調整），クミスクチン収穫・調整，養液栽培播種

2023	
3/7	ライチ取り木, マンゴー玉吊り, 熱帯果樹鉢替え準備
3/8	農作業機械操作, 熱帯果樹苗の鉢替え(土作り・接木苗鉢替え)
3/9	サトイモ定植, セロリ管理(芽かき・収穫), オクラ播種, プーゲンビリア誘引・追肥

(13) 農場実習Ⅲ (応用植物科学コース) (必修)

対象：応用植物科学コース3年(6期), 39名

日程：集中実習(6期6日間)

単位：1

実習施設：学内農場農事部

担当教員：下田代智英・坂上潤一・志水勝好・一谷勝之・山本雅史・香西直子・吉田理一郎・橋本文雄・清水圭一・津田勝男・坂巻祥孝・遠城道雄・朴 炳宰

目標：2年次の農場実習および農場実習Ⅰ, 3年次の農場実習Ⅱを受けて所属先の教育研究分野でより専門的な技術を習得する。

内容：第21表に示すように, コース全員で稲の収量および品質調査の方法を学び, 残りの5日分は所属する教育研究分野での専門的な技術に関する実習を行う。

第21表 農場実習Ⅲ (応用植物科学コース) の実習内容 (令和4年度)

月日	実習内容
2022	
10/8	学内農場農事部においてイネの収量・品質調査
他5日	所属する教育研究分野において専門的技術に関する実習

(14) 獣医臨床基礎実習 (獣医学科) (必修) 遠隔開講

対象：共同獣医学部3年(5期), 31名

日程：集中実習(5期5日間で6期5日間に延期)

単位：1

実習施設：入来牧場

担当教員：大島一郎

担当技術職員：富永 輝・石井大介・飯盛 葵・有働稜嗣・日高裕希

目標：

- ・牛の適切なハンドリングが出来る。
- ・黒毛和種の基本的な生理生態および飼養管理を理解し, 牛肉生産過程を詳細に説明出来る。
- ・家畜糞尿の堆肥化に関する基礎事項を理解し, 説明出来る。
- ・農業機械の基本的な役割, 機能が説明出来る。
- ・畜産現場における問題点や課題を発見でき, 獣医師としての適切な指導法を考察する。

内容：入来牧場における黒毛和種の飼養管理, 草地管理など肉牛生産の基礎事項を1週間体験することを通して, 獣医師として飼料・家畜・糞尿といった畜産業を包括的に捉える視野の獲得を目的とする。(第22表)

第22表 獣医臨床基礎実習 (共同獣医学部) の実習内容 (令和4年度)

月日	実習内容
2022	
9/12	オリエンテーション(施設, 家畜, 農業機械類の見学), 牛の保定, ハンドリング, 牛体洗浄, ブラッシング
13	牛の日常管理, 子牛・育成・肥育牛体重測定, 12時間行動調査, 農業機械運転
14	牛の日常管理, 糞尿処理と堆肥製造, 去勢, 除角
15	牛の日常管理, 体尺測定, 耳標装着, 鼻環装着, 飼料観察, 牛舎の衛生管理, 草地と鳥獣害
16	牛の日常管理, 全体清掃

(15) フィールド実習 (必修) 遠隔開講

対象：国際食料資源学特別コース2年, 23名

日程：集中実習(4期4日間)

単位：1

Ⅲ 教育活動

実習施設：学内農場農事部，唐湊果樹園，指宿植物試験場，入来牧場

担当教員：遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎

担当技術職員：野村哲也・中野八伯・濱田延枝・田浦一成・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・谷村音樹・松元里志・勘米良祥多・飯盛 葵・松元里志・富永 輝・石井大介・飯盛 葵・有働稜嗣・日高裕希

目標：農業の基本的な作物の栽培技術，家畜飼養技術を体験する。

内容：附属農場4施設（学内農場農事部・唐湊果樹園・指宿植物試験場，入来牧場）で1日ずつ終日実習を行うことで，第23表に示すように各施設の特性を活かした作物栽培，家畜飼養技術を学習する。

第23表 フィールド実習の実習内容（令和4年度）

月日	分野別の実習内容			
	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場	入来牧場
2023				
2/13	野菜および花卉類の育苗・栽培管理			
2/14				オリエンテーション 施設見学 ハンドリング ブラッシング
2/16			セロリ管理（芽かき、追肥），コウモリラン株分け，マンゴー管理（花吊り・玉吊り）	
2/17		草生管理（敷草），タンカン・不知火の収穫・調整		

(16) 畜産科学特別実習（選択）遠隔開講

対象：農林水産学研究科（後期）3名

日程：集中実習（5日間）

単位：1

実習施設：入来牧場

担当教員：大島一郎

担当技術職員：富永 輝・石井大介・飯盛 葵・有働稜嗣・日高裕希

目標：

- ・牛の適切なハンドリングが出来る。
- ・黒毛和種の基本的な生理生態および飼養管理を理解し，牛肉生産過程を詳細に説明出来る。
- ・家畜糞尿の堆肥化に関する基礎事項を理解し，その初期の温度・臭気変化を説明出来る。
- ・農業機械の基本的な役割，機能が説明出来る。

内容：入来牧場における黒毛和種の飼養管理，草地管理など肉牛生産の基礎事項を1週間体験することを通して，畜産業を包括的に捉える視野の獲得を目的とする。（第24表）

第24表 畜産科学特別実習の実習内容（令和4年度）

月日	実習内容
2023	
2/27	オリエンテーション（施設，家畜，農業機械類の見学），牛の保定，ハンドリング，牛体洗浄，ブラッシング
2/28	牛の日常管理，子牛・育成・肥育牛体重測定
3/1	牛の日常管理，牛体観察，耳標・鼻環装着，去勢，除角
3/2	牛の日常管理，県内畜産施設見学
3/3	牛の日常管理，全体清掃

2 講義

農場専任教員の大学院および学部での講義は以下の通りである。

1) 大学院

- ・国際農業資源学特論（後期・2単位） 遠城道雄
- ・家畜生産学特別研究（通年・2単位 分担） 大島一郎

- ・植物生産科学基礎特論（前期・2単位 分担）遠城道雄・朴 炳宰
- ・植物生産科学特別講義（後期・2単位 分担）遠城道雄・朴 炳宰
- ・畜産科学基礎特論（前期・2単位 分担）大島一郎
- ・環境変動に対応した防災と持続的一次産業（前期・2単位 分担） 遠城道雄

2) 農学部

- ・卒業論文（通年・6単位 分担） 遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎
- ・栽培技術論（前期・2単位）遠城道雄・朴 炳宰
- ・植物生産学英语（前期・2単位）朴 炳宰
- ・畜産科学概論（後期・2単位 分担）大島一郎
- ・家畜生体機構学（後期・2単位）大島一郎
- ・国際農業資源学（後期・2単位）遠城道雄・朴 炳宰
- ・欧文講読（前期・2単位）遠城道雄・朴 炳宰
- ・応用植物科学概論（後期・2単位 分担）朴 炳宰
- ・スマート農業概論（後期・2単位 分担）朴 炳宰
- ・畜産科学英語（前期・2単位）大島一郎

3) 共通教育

- ・国際協力農業体験講座（前期・2単位 分担） 遠城道雄・大島一郎
- ・国際協力論（後期・2単位 分担）遠城道雄
- ・基礎化学入門B（前期・2単位 分担）朴 炳宰